

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 2002152358
PUBLICATION DATE : 24-05-02

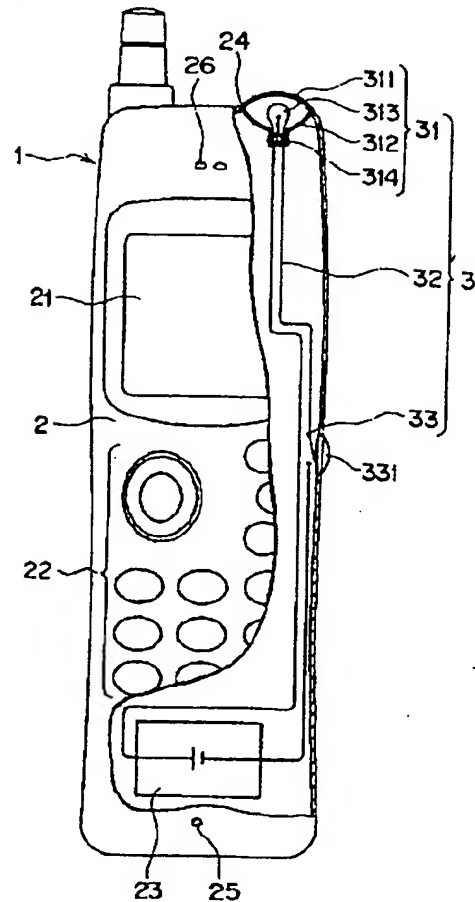
APPLICATION DATE : 10-11-00
APPLICATION NUMBER : 2000342894

APPLICANT : TSUGEKAWA MITSUKO;

INVENTOR : TSUGEKAWA MITSUKO;

INT.CL. : H04M 1/21 H01Q 1/10 H01Q 1/24
H04M 1/02

TITLE : PORTABLE TELEPHONE WITH
ELECTRIC LAMP



ABSTRACT : PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a luminaire which is equipped with the utility of a portable luminaire, which can be carried without any resistance, in which there is no risk that a battery becomes dead, and which can be used at any time.

SOLUTION: The portable telephone is provided with an electric lamp which is constituted of a lens, a reflector, a socket and a light source, a conductor which electrically connects the light source to the battery, and an electric lamp device which is constituted of a switch used to switch an electric circuit composed of the light source and the battery which are connected by the conductor.

COPYRIGHT: (C)2002,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-152358

(P2002-152358A)

(43) 公開日 平成14年5月24日 (2002.5.24)

(51) Int. Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マ-ト* (参考)
H 0 4 M 1/21		H 0 4 M 1/21	Z 5 J 0 4 6
H 0 1 Q 1/10		H 0 1 Q 1/10	A 5 J 0 4 7
	1/24		A 5 K 0 2 3
H 0 4 M 1/02		H 0 4 M 1/02	C
			H
審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 4 頁)			

(21) 出願番号 特願2000-342894(P2000-342894)

(22) 出願日 平成12年11月10日 (2000.11.10)

(71) 出願人 500519873

台川 三津子

埼玉県東松山市和泉町 7-31

(72) 発明者 台川 三津子

埼玉県東松山市和泉町 7-31

(74) 代理人 100063842

弁理士 高橋 三雄 (外 1 名)

Fターム(参考) 5J046 AA01 AA02 AB06 EA03

5J047 AA01 AB06 FDD1

5K023 AA07 BB02 DD08 EE02 GG03

HH09 LL04 LL05 LL06 MM07

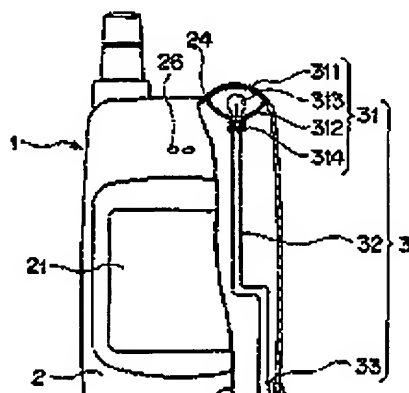
QQ02

(54) 【発明の名称】 電灯付携帯型電話機器

(57) 【要約】

【課題】 携帯型照明器具の利便性を備え、しかも何の抵抗もなく携帯し、電池切れ等の心配が少なく、いつでも使用可能な照明器具を提供する。

【解決手段】 携帯電話にレンズと反射体とソケットと光源とから構成される電灯部と、該光源とバッテリーを電気的に接続する導体と、該導体により接続された光源とバッテリーからなる電気回路を開閉するスイッチから構成される電灯装置を備える。



(2)

特開2002-152358

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 レンズと反射体とソケットと光源とから構成される電灯部と、該光源とバッテリーを電気的に接続する導体と、該導体により接続された光源とバッテリーからなる電気回路を開閉するスイッチから構成される電灯装置を備えることを特徴とする電灯付携帯型電話機器。

【請求項2】 電灯部は携帯型電話機器のアンテナ先端部に設置することを特徴とする請求項1に記載の電灯付携帯型電話機器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は携帯電話及びPHS等の携帯型電話機器に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、携帯型電話機器は電話やインターネット等の通信手段としてのみ使用されていた。そして、従来の携帯型電話機器において発光する部分は画面部とブッシュボタン及びアンテナ先端部に限られていた。しかし、画面部における発光装置はアドレス、メール等の表示内容を見やすくする機能を果たすのみであり、ブッシュボタンにおける発光装置はブッシュボタンの認識を容易にする機能を果たすのみであって、光を増殖させる手段であるレンズや反射板を備えておらず、又、アンテナの発光装置はアンテナが電波に反応することにより発光するものであり、任意に発光させることはできないものである。これらの発光装置は電灯としての機能を果たすことはできなかった。

【0003】 又、懐中電灯等の携帯型照明器具は夜や暗所において、例えば鞆内の鍵を探したり、鍵穴に鍵を挿入したり、又は停電時の非常用の照明として非常に有用なものではあるが、通常は外出時に携帯用照明器具をわざわざ購入し、携帯することはない。又、家庭内の携帯用照明器具も何処かに仕舞い込まれていることが多く、咄嗟の場合に即座に使用することができない場合が多かった。又、携帯用照明器具はしばしば、電池切れ、バッテリー切れにより、いざというときに使用できない場合があり、電池交換、バッテリーの充電が煩わしいものであった。

【0004】

2

付携帯型電話機器を提供することを課題とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上記課題を解決するため本発明では、請求項1することを特徴とする。

【0006】

【発明の実施の形態】 以下、本発明を図に従って説明する。1は携帯電話やPHS（Personal Handyphone System）の端末装置等の携帯型電話機であり、本体2と電灯機能3とアンテナ4から構成されている。

10 【0007】 本体2の前面には電話番号、時刻、着信メール等の情報を表示する表示部21と、数字、文字、記号等を入力し、或は携帯電話機の電源を入り切りし、或は通信を切断し、発信する入力キー22が設置されている。又、本体2の内部において下部にはバッテリー23が備えられていると共に、上部には音声を出力する出力装置26と、下部に音声を入力するマイク25を備えている。又、本体2の背面或は下面にはバッテリー23の充電用端子が形成されている。その他、通常の携帯型電話機器と同様に通信等の機能をつかさどる、各種プログラムを制御実行するCPUや各種プログラム或はデータを記憶する記憶媒体（RAM）等を内蔵しているが、その説明は割愛する。

20 【0008】 電灯機能3はレンズ311と反射体312と光源313とソケット314により構成される電灯部31と導体32とスイッチ機構33とバッテリー23から構成され、導体32により光源313とバッテリー23が電気的に接続されている。バッテリー23は携帯型電話機1において通信用に使用されるものを併用する。電灯部31は携帯型電話機1の上端部に設置するが、上端部に限らず適宜の位置に設置可能である。レンズ311は半円形状の或は平面円状等適宜の形状とし、本体2の電灯設置部24に螺合等により着脱自在に設置する。レンズ311を直接本体2に装着するのではなく、レンズを保持し本体2に装着するレンズホルダー等に装着し、レンズ313を保持した該レンズホルダーを本体2の電灯設置部24に螺合等により着脱自在に設置することとしてもよい。電灯設置部24は電灯部31を装着するためのものであり、本体2表面に電灯部31を挿入設置可能な孔を設けて、当該孔の側面に螺刻等してレンズ311、前記レンズホルダー、反射体312を結合す

(3)

特開2002-152358

3

4

源313の取換えの際にはレンズ311を本体2から取り外し、光源313をソケット314から取り外して行なえばよい。ソケット314は光源313を保持すると共に、光源313と導体35を電気的に接続している。ソケット314は反射体312と一体形成することとしてもよい。

【0011】導体32は導線或はニッケル薄板などを使用し、ソケット314とバッテリー23を接続している。導体32にはスイッチ機構33をもうけ、光源313、ソケット314、導体32、バッテリー23により

ば、レンズと反射体とソケットと光源とから構成される電灯部と、該光源とバッテリーを電気的に接続する導体と、該導体により接続された光源とバッテリーからなる電気回路を開閉するスイッチから構成される電灯装置を備えることとしたので、わざわざ独立の携帯型照明器具を購入、携帯する必要がなく、且つ携帯型照明器具を何の抵抗もなく携帯することが可能となった。又、通常は携帯型電話機使用のために常にバッテリーが充電されているため、電池、バッテリー切れ等の心配が少なく、いつでも使用可能な照明器具を提供することが可能となった。

構成される電気回路を開閉可能としている。

【0012】前記スイッチ機構33はボタン式を採用し、本体2に設けたスイッチボタン331の押圧により操作し、回路を開閉して光源313の発光、消灯をする。スイッチ機構33は切替え式にしてスイッチを切換えることにより回路の開閉を行なうこととしてもよい。

【0015】又、請求項2の発明によれば、電灯部は携帯型電話機器のアンテナ先端部に設置することとしたので、電灯を設置する機構を特別に形成することなく携帯型電話機器に照明器具を取り付けることが可能となった。

【0013】又、電灯部31はアンテナ4の先端部に装着することとしてもよい。この場合にはレンズ311、反射体312、光源313、ソケット314を保持内蔵する筒体34をアンテナ4の先端部に装着し、筒体34に電灯部31を前述の本体2の電灯設置部24に設置するのと同様に設置し、導体32をアンテナ4内に設置する。導体32の設置においては筒体34の下部のアンテナ4の外周上にアンテナ4内部の導体321を介して光源313と接続する導体321aを設置すると共に、本体2のアンテナ4収納部内側に導体321bを設置し、更に、アンテナ4の他の箇所にアンテナ4内部の導体322を介して光源313とに接続される導体322aを設置すると共に、本体2のアンテナ4収納部内側に導体322bを設置して、アンテナ4の収納時に導体321aと導体321bが接続されると共に、導体322aと導体322bが接続されるように形成することは推奨される。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明一実施例一部破断面図

【図2】 本発明他実施例一部破断面図

【符号の説明】

- | | |
|-----|---------|
| 1 | 携帯型電話機 |
| 2 | 本体 |
| 23 | バッテリー |
| 24 | 電灯設置部 |
| 3 | 電灯機能 |
| 31 | 電灯部 |
| 311 | レンズ |
| 312 | 反射体 |
| 313 | 光源 |
| 314 | ソケット |
| 32 | 導体 |
| 33 | スイッチ機構 |
| 331 | スイッチボタン |
| 4 | アンテナ |

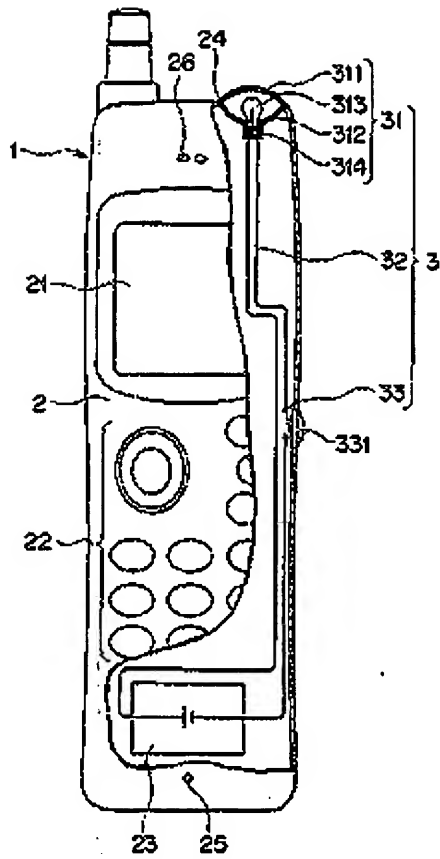
【0014】

【発明の効果】 以上のように請求項1の発明によれば、

(4)

特開2002-152358

【図1】



【図2】

